# 植生保護期とヒグマ活動期の前半（ヒグマとの付き合い方）

**資料6-4別添**

5:15

| 項目 | 時間 | 内容 |
|---|---|---|
| **プロローグ** | 0:25 | ようこそ知床へ |
| | | 知床は国立公園であるとともに、ユネスコの世界自然遺産に登録されています。 |
| | | そして知床は、世界トップレベルのヒグマの高密度生息地です。 |
| | | 不適切な行動は危険を招きます。正しい知識を身につけ、知床を楽しみましょう。 |
| **ヒグマの生態** | 0:40 | 日本においてヒグマは、北海道のみに生息しています。 |
| | | 大きいもので、体長約2m、体重は400kgにもなる、日本最大の陸生動物です。その巨体にも関わらず、時速50kmほどで走ることができます。 |
| | | ヒグマは純粋な肉食動物ではなく、人を襲うことは稀ですが、油断はできません。 |
| | | 多い年には、北海道だけで年間10人近い死傷者を出しています。 |
| **人とヒグマの軋轢** | 1:05 | 年間100万人を超える観光客が訪れる知床では、人身事故が起こりかねない危険な状況が度たび発生しています。 |
| | | その内の一つがクマ渋滞です。これは、ヒグマを観察するために何台もの車両が停車して通行に支障をきたす状態のことです。中には近くで観察したり写真を撮るために、車から降りてヒグマに接近したり、付きまとったりする人もいます。これらは、ヒグマによる人身事故だけでなく、交通事故発生の可能性も高まり、危険ですので、絶対にやめてください。 |
| | | また、ヒグマにエサをあげることも絶対にやめてください。人為的な食べ物に餌付いたヒグマの行動は大きく変化し、人に寄ってくるようになるなど、危険なため駆除せざるを得ません。 |
| **自然公園法** | 0:20 | そして、2022年4月の自然公園法改正により、これらの接近やつきまとい、餌付けは自然公園法第37条違反として、違法行為となりました。30万円以下の罰金が化される可能性がありますので、絶対にやめてください。 |
| **ヒグマ対処法** | 2:30 | ヒグマとの事故防止において、最も重要なことは「出会わないこと」です。つまり、まずは可能な限りヒグマとの遭遇を回避する方法を取りましょう。 |
| | | ヒグマとの遭遇を回避するためには、音を出し、ヒグマにこちらの存在を先に気付いてもらうことが重要です。また、音を出した後は音に対する反応を確認することが重要です。 |
| | | しかし、どれだけ気を付けていてもヒグマに遭遇する可能性はあります。<br>ヒグマと遭遇した際の基本は、「慌てない」「騒がない」「ゆっくりとその場を離れる」です。 |
| | | ヒグマを発見した時は、まずは落ち着いて、ゆっくりとヒグマから離れてください。前方にヒグマがいた場合は、後ろに下がり、後ろにヒグマがいた場合は前に進みます。この時、走って逃げたり、騒いでしまうと、ヒグマを刺激してしまい、おいかけてくる可能性が高まります。絶対にやめてください。ヒグマがこちらに向かって歩いてきた場合も、決して慌てないでください。ヒグマは目があまりよくないため、人に気付いていない可能性もあります。ゆっくり両手を大きく振りながら、優しく声をかけてください。多くの場合、気が付いたヒグマは進路を変えるなど離れてくれることでしょう。 |
| | | ヒグマが突進してくる可能性もありますが、多くの場合は威嚇です。ヒグマは手前で止まり、離れていくでしょう。 |
| | | もしもヒグマに襲われた場合は、ヒグマの攻撃が止まるまで、このような「防御姿勢」という姿勢を維持することで致命傷を防ぐことができるという研究結果があります。 |
| | | また、クマ撃退スプレーを使用することも別の手ですが、スプレーも防御姿勢も100％の対処法ではなく、最終手段です。 |
| | | そのため、ヒグマとの人身事故を防ぐためには,ヒグマとの遭遇を回避することが最も重要です。 |
| **エピローグ** | 0:15 | 皆様のご理解とご協力をお願いいたします。 |
| | | 安全に知床を楽しみましょう。 |

# 植生保護期の後半

**資料6-4別添**

4:10

| 項目 | 時間 | 内容 |
|---|---|---|
| **プロローグ** | 0:45 | 知床随一の景勝地である知床五湖は、かつて、オーバーユースによる植生浸食や、ヒグマ出没による度重なる閉鎖などの課題がありました。<br>そこで2011年からは、自然公園法に基づいて利用人数等を制限することにより、自然景観や生物多様性の守りながら、持続可能な利用を進めています。 |
| | | また、知床五湖はヒグマを観察するための場所ではありません。 |
| | | そのため、これからお伝えする注意事項をしっかりと守ってください。 |
| **ヒグマ関連** | 0:55 | 知床五湖では、このように見通しの悪い場所が多くあります。このような場所では近距離でのバッタリ遭遇の危険性が高まりますので、必ず音出しをしましょう。 |
| | | クマが前方にいた場合は、後退し、後ろにいた場合は前進してください。 |
| | | 遭遇後は速やかに退避していただき、他の利用者に出会ったら、クマがいたことを伝えて一緒に戻ってきてください。 |
| | | 他の人がクマを見て引き返してきた場合も、必ず一緒に引き返してください。 |
| | | 他の利用者の安全のためにも、必ずFHにもどって、ヒグマと遭遇したことを伝えてください。 |
| **散策時の注意** | 1:30 | 食べ物の持ち込み、食事はできません。飲み物は糖分の入っていないお茶かお水のみが持ち込み可能です。これらは、ヒグマやハチを誘引しないためのルールです。 |
| | | 事前に服や靴に付着した種子や土を取り除いてください。これは外来種を持ち込まないためのルールです。 |
| | | 動植物の採取や持ち込みはしないでください。ペットも連れて入ることはできません。 |
| | | 遊歩道内は緊急時を除き、一方通行です。これは、ヒグマ出没時に速やかに遊歩道内の安全確認を行うためです。 |
| | | 散策の際は、遊歩道から外れないでください。水たまりやぬかるみがあったとしても、遊歩道から外れることはできません。ダメージを受けた植物は回復に長い時間がかかります。 |
| | | 野生動物への餌付け禁止です。 |
| | | 知床五湖園地は全体でドローンの使用が禁止されています。 |
| | | 知床五湖園地は遊歩道内や高架木道、駐車場を含めて一体が禁煙です。 |
| **ヒグマ対処再確認** | 0:45 | 最後にヒグマ対処法の再確認です。<br>ヒグマとの遭遇回避のために、音出しをしましょう。音を出した後はその反応も確認しましょう。 |
| | | ヒグマに出会ったら、慌てない、騒がない、ゆっくりとその場を離れる、というのが基本です。絶対に走って逃げたり、騒いだりはしないでください。 |
| | | クマを目撃した場合は、他の利用者にも伝えて一緒に戻ってきてください。 |
| | | FHに帰着後はヒグマ遭遇について、FHスタッフに伝えてください。 |
| **エピローグ** | 0:15 | 安全に楽しんでいただくために、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。 |
| | | 美しい知床五湖の自然を楽しんでください。 |

# ヒグマ活動期の後半

**資料6-4別添**

4:00

| 項目 | 時間 | 内容 |
|---|---|---|
| **プロローグ** | 1:00 | 知床随一の景勝地である知床五湖は、自然公園法に基づいて、利用方法等を制限することで、自然景観や生物多様性の守りながら、持続可能な利用を進めています。 |
| | | ヒグマの活動が活発なこの時期は、登録引率者というヒグマへの対処技術を習得し登録されたガイドの引率するツアーのみが立ち入りが可能です。 |
| | | このツアーは、ヒグマの観察ツアーではありません。 |
| | | ヒグマとの危険な遭遇など、状況によって、ツアーが中止となる場合があります。 |
| | | また、ヒグマとの遭遇により他のツアーがツアー中止となった場合は、安全のため全てのツアーが中止となりますので、ご了承ください。 |
| | | 安全に楽しんでいただくために、これからお伝えする注意事項をよく理解し、引率者の指示に従ってください |
| **ヒグマ関連** | 0:45 | ガイドは、ヒグマとの遭遇回避のために、声や手などで音を出します。 |
| | | しかし、ヒグマと遭遇する可能性は大いにあります。 |
| | | もし、ガイドよりも先にヒグマに気付いたら、速やかにガイドに伝えてください。 |
| | | 騒がず、一つにまとまり、引率者の指示に従って退避して下さい。 |
| | | 大声を出したり、走って逃げたり、ヒグマを刺激するようなことはしないで下さい。 |
| **散策時の注意** | 1:30 | 食べ物の持ち込み、食事はできません。飲み物は糖分の入っていないお茶かお水のみが持ち込み可能です。これらは、ヒグマやハチを誘引しないためのルールです。 |
| | | 事前に服や靴に付着した種子や土を取り除いてください。これは外来種を持ち込まないためのルールです。 |
| | | 動植物の採取や持ち込みはしないでください。ペットも連れて入ることはできません。 |
| | | 遊歩道内は緊急時を除き、一方通行です。これは、ヒグマ出没時に速やかに遊歩道内の安全確認を行うためです。 |
| | | 散策の際は、遊歩道から外れないでください。水たまりやぬかるみがあったとしても、遊歩道から外れることはできません。ダメージを受けた植物は回復に長い時間がかかります。 |
| | | 野生動物への餌付け禁止です。 |
| | | 知床五湖園地は全体でドローンの使用が禁止されています。 |
| | | 知床五湖園地は遊歩道内や高架木道、駐車場を含めて一体が禁煙です。 |
| **ヒグマ対処再確認** | 0:30 | 再確認ですが、ヒグマに気が付いたら、速やかにガイドに伝えてください。 |
| | | ヒグマ遭遇時は、騒がず、一つにまとまり、引率者の指示に従って退避してください。 |
| | | 大声を出したり、走って逃げたり、ヒグマを刺激するようなことはしないで下さい。 |
| **エピローグ** | 0:15 | 安全に楽しんでいただくために、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。 |
| | | 引率者の指示に従い、美しい知床五湖の自然を楽しんでください。 |